Vol.2
R4.4.15 発行

赤川流域治水協議会だより

～関係機関と地域が連携し、赤川沿川を水害から守る治水対策の推進～

「第５回　赤川流域治水協議会」を開催

・令和４年３月１６日に、「第５回　赤川流域治水協議会」を開催しました。
（山形県二級水系流域治水協議会を同時開催）
協議会では「赤川水系流域治水プロジェクトの更新」について、協議し承認されました。

・赤川流域治水協議会では、引き続き、被害の防止・軽減に資する流域における対策を総合的に検討の上、密接な連携体制を構築して行くことを再確認しました。

協議会の状況
（WEB会議で開催）

赤川流域治水協議会の実施状況

・令和２年　９月１８日　（第１回）赤川流域治水協議会（協議会設立）
・令和２年１２月２１日　（第２回）赤川流域治水協議会
・令和３年　２月１８日　（第３回）赤川流域治水協議会
・令和３年　３月３０日　「赤川流域治水プロジェクト」
「赤川流域治水宣言」公表
・令和３年　７月３０日　（第４回）赤川流域治水協議会
・令和４年　３月１６日　（第５回）赤川流域治水協議会

◆　各機関からの主な発言

- 県管理区間も含め、河道整備の重要度は非常に高いので河道掘削、支障木伐採などの一層の推進に期待したい。
- 流域治水協議会での情報も活用して、降雨時の排水対策など地域の課題解消の手立てを検討していきたい。
- 酒田河川国道事務所で実施している、文下地区の河道掘削、猪子地区の堤防強化対策や山形県で実施している青竜寺川の堤防かさ上げなどの進捗に感謝している。
- 町独自の防災ガイドブックの全戸配布や町内会に出向いての防災講話、マイタイムライン作成講習会を実施し、防災意識の向上を図っているところである。
- コロナ禍のもと、屋外活動のできる場所の需要が高くなっているのでグリーンインフラメニューのかわまちづくりの成果にも期待したい。
- 今後、防災情報のデジタル化に取り組み、情報伝達、情報処理の一元化を進めて行く計画である。
- 流域治水を含め、庄内地域で情報共有をして、さらなる連携体制を構築していく。

丸山市長（酒田市）

阿部町長（三川町）

協議会で承認された「赤川水系流域治水プロジェクト」の内容は酒田河川国道事務所のホームページからご覧になれます。

発行：赤川流域治水協議会事務局
東北地方整備局　酒田河川国道事務所　調査第一課
山形県酒田市上安町一丁目２－１
電話（0234）27−3471